



はこだて Marine Letter

令和4年11月 No.115

安全運航の徹底！

1 見張りの徹底

船舶は、周囲の状況及び他の船舶との衝突のおそれについて、視覚・聴覚及びその時の状況に適した他の全ての手段により、常時適切な見張りをしなければならない。

視覚⇒目視、双眼鏡、レーダー、コンパス

聴覚⇒耳

2 居眠り防止

★眠くなったら

(1) 長時間同じ姿勢でいない。⇒意識的に姿勢を変える。

(2) 自分の年齢・体力を過信しない。⇒疲れを感じたら早めに帰港する。

(3) ガムを噛んだりコーヒーを飲んだりする。⇒脳内の覚醒レベルを高める効果がある。

3 気象・海象の把握

出港前に気象・海象情報を入手し、航海中においても常に気象・海象の変化に注意して悪天候が予想される場合は、出港を取り止めたり、早めに帰港する。

4 集団行動

気象・海象の悪化や不測に事態に備え、複数隻で行動する。

5 作業の安全

出入港等の作業中は、ライフジャケットを着用し、安全第一とする。



※安全意識を高く持ちましょう！

操船者、乗船者のほか、関係者が安全について考え、それぞれが安全に対する意識を向上させることでヒューマンエラーを減少させ「海難ゼロ」を目指しましょう！

観天望気（津軽海峡付近の昔からある天気のことわざ）

- ・小島さボチャかがればヤマセ（月崎、館浜、弁天地区）

松前小島に暈雲がかかれば、半日乃至1日後には東風が強くなる。

- ・小島近く見えれば時化（館浜地区）

松前小島がはっきり見えるとやがて時化になる。

- ・白神山さボタかかれば、ヤマセ強くなる（弁天地区）

白神山（352 ㍎）に暈雲がかかると、東風が強く吹き出す。

- ・恵山を雲覆えば時化（恵山地区）

恵山をすっぽり雲が覆うと時化になる。

